

水質分析

目的

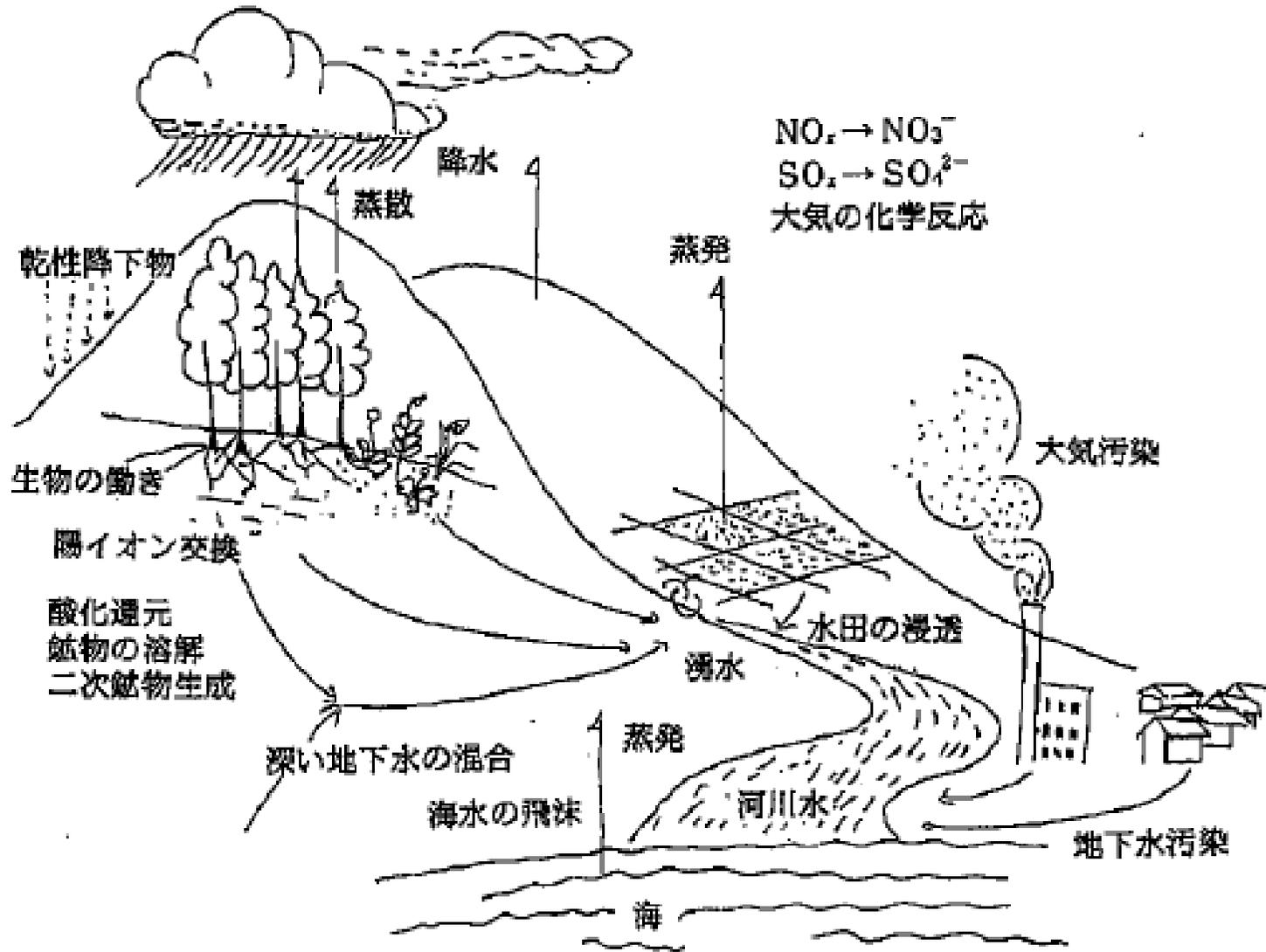
- 表流水や地下水の水質の把握
- 地下水の涵養・流動機構の把握・解明
- (地すべりの場合)すべり面に働く間隙水圧に關与している地下水の区分、水系(流動機構)の把握

概要

- 地下水の水質形成には、降水、蒸発と蒸散、植物・微生物により影響、地中での化学反応、汚染、河川・湖沼での水質変化などが關与している
- 湧水箇所、地表水、河川、ボーリング孔、井戸等で採水し、目的に応じて分析項目を選定して分析する

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

地下水形成過程



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用

水質分析の留意事項

事前に既存データや地形図を参考に採水計画を立てる

現地水質分析で計画と矛盾が生じた場合は修正する

採水時には採水瓶を採水する水で繰り返し洗浄する

人為的な影響を受けないように注意する

採水瓶に空気を入れないように満水状態で採水する

現地水質分析で概要を把握しておき、分析結果と比較・検討する

必要に応じて湧水量や流量を測定し、降水量との関係を見る簡単な水収支を行う

イオンバランス等で分析結果を評価し、必要に応じて、再度、採水・分析し直す

他のデータと合わせ、総合的に解釈・提案を行う